



【先週 12月19日～12月25日の外食の出来事】

■飲食店の客足、回復伸び悩み 19年比26%減

回復傾向にあった飲食店の客足が再び落ち込んでいる。予約管理サービスのトレタが全国約4200店の来店者数を集計したところ、11月29日～12月5日は新型コロナウイルス流行前の2019年同期と比べて26%減だった。

■銚子丸、上半期(2021年5月16日～11月15日)の業績 減収増益

2022年5月期 第2四半期の業績を発表。売上高78億6000万円(対前年同期比10.6%減)、営業損失1億100万円(-)、経常利益8億7600万円(同127.6%増)、四半期純利益5億4000万円(同166.1%増)であった。

■梅の花、上半期(2021年5月～10月)の連結業績 減収赤字

2022年4月期 第2四半期の連結業績は売上高96億6800万円(対前年同期比1.6%減)、営業損失13億3300万円(-)、経常損失14億6200万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億3500万円(-)であった。

■バルニバービ、第1四半期(2021年8月～10月)の連結業績 増収増益

2022年7月期 第1四半期の連結業績は売上高25億3100万円(対前年同期比0.0%増)、営業損失1億5300万円(-)、経常利益3億500万円(同342.7%増)、四半期純利益2億円(同81.3%減)であった。

■ギフト、2021年10月期(2020年11月～2021年10月)の連結業績

2021年10月期 通期の連結業績は売上高134億7400万円(対前年同期比22.7%増)、経常利益17億4800万円(同241.4%増)、当期純利益10億7600万円(同855.3%増)と増収増益を確保した。

■サンマルク、33歳社長に交代

サンマルクの代表取締役、取締役経営企画室長の藤川 祐樹氏が就任。2022年1月1日付け。藤川氏は、まもなく33歳。三菱UFJモルガン・スタンレー証券出身で、2019年4月にIR担当部長としてサンマルク入社。

■新宿「中村屋」ネパール人男性6人を不法就労

東京・新宿区の「中村屋」と埼玉工場の男性係長は2018年11月以降、就労資格のないネパール人の男性6人を違法に働かせた疑い。男性係長は「違法なのは分かっていたが、人手不足の解消を優先した」と容疑を認めている。

■すき家が牛丼値上げ、「並盛」400円に…松屋・吉野家に続いて

牛丼チェーンのすき家は20日、牛丼などを23日午前9時から値上げすると発表した。「並盛」は税込み350円から400円に引き上げる。米国産牛肉をはじめとする食材費や配送コストの上昇などが要因

■マクドナルドHD:フライポテトSサイズのみ販売に制限、輸入遅延で

日本マクドナルドホールディングスは21日、北米からのポテト輸入遅延のため、当面「マックフライポテト」のSサイズのみを販売すると発表した。M・Lサイズの販売は一時休止する。全国の約2900店舗が対象。